臺灣日日新報 夕刊 昭和十六年四月二十四日（木曜日） 第一万四千七百七十號 （一）

福州新市街を占領す
閩江南岸進撃部隊猛進

【福建二十二日發同盟】十九日午前敵江東岸に上陸せる我が精鋭部隊は敵の激烈なる抵抗を排除しつつ一路敵を西方に壓し山坂地帶に據り小癪にも抵抗を繼續せる敵を各個に撃破し二十一日午前五時閩江佐岸の要衝を攻略直ちに閩江對岸の要衝を占領し更に閩江沿岸の敵陣地を占領し敵を殲滅せんと

頑敵撃破溪口鎭占領

【溪口發二十二日發同盟】溪口方面の我が精鋭部隊は二十二日午後八時二十分遂に鎭内（溪口西北方七粁）に突入し敵の最後の抵抗を排除して同地を占領した

慈谿縣城一角に突入

【福建二十二日發同盟】慈谿方面の我が精鋭部隊は二十二日午前八時二十分遂に慈谿（慈谿西北方七粁）縣城の東南一角に突入し引續き縣城を壓迫中である

松門、柴橋に陸戰隊上陸

【上海二十二日發同盟】支那方面艦隊部隊は二十二日午前十時發表

我海軍陸戰隊は本日未明浙江省臨海の松門及び柴橋附近の敵陣地に對し上陸を決行し目下同地の敵を攻撃中なり【註】臨海は杭州灣南岸の一港で寧波方面二十五粁、天臺は臨海の西方二十粁、松門は臨海の東方二十五粁、柴橋は臨海の西北方十粁である

諸暨南方敵據點急襲

【福建二十二日發同盟】我山、蔡、王、野、暨、渡等の陸軍部隊は二十二日午前九時二十五分諸暨（浣江西方十五粁）を中心に諸暨南方據點に對し一齊に攻撃を開始し敵を各個に撃破しつつ二十二日午後四時三十分諸暨南方の要點を占領し更に敵の退路を遮斷すべく諸暨南方の要點を占領し更に敵の退路を遮斷すべく諸暨南方の要點を占領し更に敵の退路を遮斷すべく

忠靈顯彰を助長

華美壯大を避け材料も簡素に

市町村には一基建設

北支派遣軍司令部に於て楽多数の戦死者の英霊を祀る忠霊顕彰碑建設に関し左の如き原則として四月各一基宛建立に着手し目下その準備を行つてゐるが碑建設用の地に関係があるので軍は現地に於ける碑建設は特に簡素を旨とし華美壯大を避け材料も一基宛とし一二箇師団に対しその資料を配布一二箇師団に対しその資料を配布することゝなつた

一、碑建設は市町村を単位とし一基宛とする

二、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

三、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

四、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

五、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

六、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

七、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

八、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

九、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

十、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

十一、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

十二、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

十三、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

十四、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

十五、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

十六、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

十七、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

十八、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

十九、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

二十、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

二十一、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

二十二、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

二十三、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

二十四、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

二十五、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

二十六、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

二十七、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

二十八、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

二十九、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

三十、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

三十一、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

三十二、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

三十三、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

三十四、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

三十五、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

三十六、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

三十七、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

三十八、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

三十九、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

四十、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

四十一、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

四十二、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

四十三、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

四十四、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

四十五、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

四十六、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

四十七、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

四十八、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

四十九、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

五十、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

五十一、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

五十二、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

五十三、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

五十四、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

五十五、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

五十六、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

五十七、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

五十八、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

五十九、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

六十、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

六十一、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

六十二、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

六十三、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

六十四、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

六十五、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

六十六、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

六十七、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

六十八、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

六十九、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

七十、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

七十一、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

七十二、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

七十三、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

七十四、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

七十五、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

七十六、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

七十七、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

七十八、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

七十九、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

八十、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

八十一、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

八十二、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

八十三、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

八十四、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

八十五、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

八十六、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

八十七、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

八十八、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

八十九、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

九十、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

九十一、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

九十二、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

九十三、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

九十四、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

九十五、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

九十六、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

九十七、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

九十八、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

九十九、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

百、碑建設は市町村民の総意に基き市町村長が主となり県知事と協議の上決定する

御苦労で、した

松岡さん、立川飛行場に着いた日

近衞さん外相と握手

一回悠々と盛の歓呼かに包まれた、飛び降りた松岡外相は、近衞首相に握手を求めた松岡外相が降りて例の山高帽を脱ぎ白のソフトに替へて手に竹のステッキと云ふ洒落をツッかと大地に降り立つ第一歩を印した一行が元気な姿で降り立つた、外相はやや疲れた顔に微笑を浮べて近衞首相の前に進み出る、歴史的な一瞬「あなたが御迎へに来て下さるとは思ひませんでした」とソト首相を凝視へて「ヨク〳〵首相の手を握りしめ只今帰りました」

長谷川總督 油田視察へ

新竹、臺南、高雄の三州下

島民默禱の時間

廿五日午前十時十五分

これから救はれる 福建民は幸福

皇軍入城を喜ぶ黃大偉氏

心氣更新を目標に

鐵道部で異動斷行

高給者の大整理を行ふ

華僑新民公會から 福州陷落の祝賀電

敵舟群木ッ端微塵！

臨時手當支給 四月から實施

茶殼大量獻納

伏見丸基隆に 初寄港

御會 マツダランプ

また惡天候

けさ靖國神社と 明治神宮に參拜

九段社頭で遺族達に禮

外地は二百圓以下 に對して支給

青年學校の研究會

華僑新民公會から 福州陷落の祝賀電

華僑新聞發刊

臺日案內

書籍 古書現金買ひ 誠堂書店
醫院 性病科 永吉醫院
寫眞 中古カメラ高價買入
時計眼鏡 メガネは金光堂
洋服 夏の婦人服地
藥種商 榮養に血肉エキス
樂器 ピアノ・オルガン
古レコード買ひ
紙文房具 新古日本刀賣買
雜件 ラヂオ蓄機

小兒榮養不良と貧血に……
各種ビタミン鉄・マンガン結合滋養劑 ハリブマルト

日曜・祭日・夜間に限り
敵舟群木ッ端微塵！
ノーシンが一番だ
正しき月經促進新藥 エムサン
頭痛にはやっぱりレポスキン
集約豫 申込殺到 特望に應へ切延期決行
新企畫による 囃子入錄音完成！ 吉住小三郎 稀音家浮觀
ポンジー 粉白粉
オリヒノ

アラブ七千萬の嵐

茲にも見る英國の衰頼

東部に擡る獨立の旗

イタリヤ、ソ聯、ドイツ、イタリアは各自勢力の擴大と利益から二重に、中部に重大關心を有しているが自らこれを確保することを願つてゐるがアラビヤ半島は地理的から或種別の「關係關係」の活舞臺として數々の歴史を有している地方である

スエズ運河保障策

列國の利害錯綜紛糾

地中海と紅海、印度と西洋とを結ぶスエズ運河を保障するためには、どうしてもエジプトと同時にアラビア半島を確保しなければならない

英佛　殊にイギリスが十九世紀末葉、巨額の資金と有名なローレンスその他有名無名、無數の手を通じ執拗な工作、練りてきたのもその故である

國際からの地方から何としても既存のイギリス勢力を追ひんとしてゐるのもまたこの點にあり殊に北アフリカに相當の關係を有するイタリアとしては一日も

もつぱら、一九一一年ペリで開かれたアラビア人大會は當々の要求を提出、一時トルコ政府の讓歩を得たが、未だそれが實現しないうちに、第一次大戰が勃發、トルコはドイツ側に立つて參戰することとなつた

殊に英國のアラビア半島を繞る所謂「關係關係」は十九世紀初頭から相當複雜であつたが、殊にイギリスはアデン（一八三九年）ペリム島（一八五七年）を得て紅海の南口を扼し、アラビア各國半島の大半の同意を得て、これらの外交關係を優位、フランスは一八六一年以來シリア自國の保護を得てシリア方面に工作し、

ロシアとギリシヤ・オーソドックス派の保護者として發言權を握りドイツ皇帝ビ巡歴の際にあらゆる努力を拂つた、この間に於てエヂプト人が發々ペルシヤ灣地方にも擴大し、三年十月二日イラクの獨立を認めた結果、同國は國際により獨立國となつた、しかし實際には

依然　イギリス勢力の重壓下に喘ぐ

の感なき有樣で、シリアでも一九二年から翌二六年にかけて大反抗が勃發したが、これはフランスに壓迫されて成功しなかつた

アラブ諸民族のイギリスを恨むことは深刻で、アラビア半島におけるイギリスの威勢は漸次衰頽、例へばサウヂ・アラビアのイブン・サウヂのごとき、イギリスの外交的優勢化を阻止して、三四年に至り國際イエメンとの間に條約を結び國際間の結束を固めた

日本の關心

更に我々が注目せねばならぬのは先に述べたごとき立場から、各地を統一の利害關係をもつてアラビア半島に關心を有し、殊に最近の日本の大使節の歴訪はアラビア諸國に深い印象を與へたものと思はれる

一九三八年イラン、ソ聯、トルコ、イタリアの各勢力が、この諸國の重大性を見逃すわけもなく、彼等が果して如何なる動きに出でたかは、世界の注目の的であるが、日本としては從來、中東問題の非常に關心を有し、殊に回教徒の多數を有する點に於ても、日本の回教徒に對する政策如何によつては、アラブ諸國の日本に對する感情如何に重大な影響を與へるものであるから、我が國としては、如何に利用せんとするかを各自が細心に考慮して善處しなる必要が多分にあらうと思ふ

又も獨逸の新兵器

地中海に分裂機雷

獨逸軍はまたも新兵器に分裂機雷を走航實驗、これを地中海戰に利用し出でんと傳へられてゐるが、分裂自走機雷は大型機雷にして攻擊機に搭載され、投下して命中すると同時に分裂して數個の機雷となり敵艦に接觸しないものにも一定の時間が經過すると水面下に爆發する仕掛になつてゐるので、北海に、ドーバー海峽に大活躍するであらうが、ベルスの地中海に大威力を發揮するであらう

近東アフリカ獨軍の作戰基地

希臘のサラミス灣

ことに機雷に頼ぐない、殊で、ギリシヤ、が開戰するや、或は又敗退して首都及びこのサラミス灣一帶の制海權を獨逸に奪はれるや、英國の地中海權及びアフリカ作戰には重大支障をきたすことがある、これだけに英國も赤必死の抵抗を試みる事勿論に戰くないが、爾後如何そんな事はいふまでもない

この點の問題が、殊にこのサラミスは世紀前ギリシヤ帝時代からは「バルカン制覇の基地」として、從つてその攻略は世界戰史上に特筆されてゐる

上古史に有名なテミストクレスの艦隊がペルシヤ艦隊を撃破したのもこの灣内であつて、又この灣内で、ローマ艦隊がカルタゴ艦隊を撃破したのもこの灣内であつた

更に最近獨軍としては英國に對し、フランス降伏後の獨軍の最大目標は英國の本土上陸作戰であつたことは明白な事實であつて、この點から獨軍としては英國の本土上陸作戰の前提として、英國の地中海權を覆滅することが必要であつた

以上のごとき國際的に重大なる關係を有する、アラビア國立觀點からこれを觀察すると、丁度大きな一つの鍋が沸騰し、しかも盛んに燃えてゐるその鍋の下に、一つの好機ともいふべき事態が出現したのである、此際國際的關係を考慮すべきことは勿論であるが、この點に關して、最も注意すべきは、アラビア半島を中心に北アフリカ、中央アジア等に四散七千万といはれるアラビア人は現在アラビア半島を中心に北アフリカ、中央アジア、トルコ、エヂプト、サウヂイ・アラビア、イエメン、現在ではイラクに至る國際的の關係を最も重要なることとする

民主國陣營の慘敗

今次大戰獨立の好機

歐洲戰局が擴大するなら、アラビア半島に於ても、何時、何處から、何人が如何なる形をとつて出現するかも知れず、又アラビア人の多數が住する北アフリカ諸地

暁の町 (152)

武田麟太郎作　林唯一畫

「――ここで」

電話から（日）

僕はこの頃ずいぶん痩せた。私服でよかったと思うほどズボンがだぶだぶする。

「――ふむ、来ればよかったのか」

門倉は電話に出ると黙った。

「――いや、そうじゃないが……」

ここでも彼は言葉に詰まるのだった。

「――天野さんを……」

めいに、相手にして貰う待つ間が近づくと彼は胸がひっつきそうになる。その時が近づくと彼は胸がひっつきそうになる。

「――そ、それだけだった。

「――さうですか、どうぞお上りなさいまし」

かねて打合せは、客が出来てから、

「――すぐお火を持って参りますから」

という事になっていた。

小さな部屋であった。隣室の襖が一枚隔ててある。火鉢にはまだ火がなかった。

「――ちぇ、私は……」

と、僕は天野に断つて行つた。

「――ありがたうございました」

彼は行つてしまふと、何やら心細くなつた。その頃に話して、しのぶは小さい心臓に感じた。こんどは必ずなにかが先に立つて、しのぶを「座へ案内する。

「――すぐお火を持つて参りますから」

小さな部屋であつた。隣室の襖が一枚隔ててある。火鉢にはまだ火がなかつた。

糧秣より手紙を

芋飯に味ふ塹壕正月

戦局に霧が降りつづこうと、それも恰も霧が降りつづこうと、それも恰も霧が降りつづこうと、それも恰も

臺灣新報
日本人共読夕刊
株式會社 吉田商會 印刷所
コロムビア 一回以上 壽年筆

諸隊南方包圍陣内に陸鷲協力下殘敵掃蕩

要衝慈谿の一角に突入

【重慶二十三日發同盟】重慶軍部の發表によれば、浙贛作戰軍の一部は、浙贛鐵道の要衝慈谿の一角に突入、同地の敵を掃蕩中である

【重慶二十三日發同盟】慈谿攻略に當つた浙贛作戰軍の一部は、

米英に宣戦の大詔渙發

帝國陸海軍 今八日未明 西太平洋の彼我全域に亙り 自存自衛の戰ひに突入

帝國陸海軍は今八日未明 西太平洋の彼我全域に亙り 自存自衛の戰ひに突入

米英に宣戰

遺族ら感激の對面
英靈九段に神鎭る
いとも嚴かに招魂の式
けふ臨時大祭第一日

【東京發同盟】靖國の男兒一萬四千九百七十柱を永久に祀り奉る招魂の式は二十四日から五日間執行されるが、二十四日午前九時半から靖國神社境内の齋庭に於ける第一日の式典には遺族ら一萬二千餘名が參列、陸海軍代表、大政翼贊會代表、内閣代表、貴族院代表、衆議院代表、在郷軍人會代表、大日本婦人會代表、大日本青少年團代表、大日本國防婦人會代表、大日本興亞同盟代表、大日本産業報國會代表、大日本連合婦人會代表、大日本聯合青年團代表、大日本少年團代表、大日本少女會代表、大日本學生會代表、大日本生産黨代表、大日本翼贊壯年團代表、大日本翼贊青年團代表、大日本翼贊少年團代表、大日本翼贊少女團代表、大日本翼贊婦人團代表、大日本翼贊會代表、大日本興亞青年同盟代表、大日本興亞女子同盟代表、大日本興亞少年同盟代表、大日本興亞少女同盟代表、大日本興亞會代表、大日本興亞學生同盟代表、大日本興亞青年團代表、大日本興亞婦人團代表、大日本興亞少年團代表、大日本興亞少女團代表、大日本興亞學生團代表、大日本興亞青年隊代表、大日本興亞婦人隊代表、大日本興亞少年隊代表、大日本興亞少女隊代表、大日本興亞學生隊

昭和十六年四月二十四日（木曜日） 臺灣日日新報 第一万四千七百七十七號 （第二種郵便物認可）

高雄州下全適齢者を一人漏れなく導入
職場には職場青少年團
擴大强化

【高雄電話】大東亞建設の聖業に參加し得る青少年團員は、來る十五日から一齊に入團式を擧げることになつたが、これに先立ち十日午後一時から高雄市内各青少年團の團長、團員代表者約百名を高雄州廳に招集し、團長會議を開いた、會議は先づ團長會議を開いて、團の運營方針、團員の訓練方法等について協議し、次いで團員代表者會議を開いて團員の心構へ等について協議した、尚團長會議には高雄州から内藤青少年課長、團員代表者會議には高雄州青少年團副團長の高雄市助役が出席した

皇軍入城に歡喜
福州出身者商取引計畫

【高雄電話】皇軍福州入城の報に接した高雄市在住の福州出身者は、いづれも歡喜に堪へず、福州の林兼商店高雄支店を中心に協議してゐるが、同店では福州の本店と連絡を取つて、福州の治安が確立し次第、福州に於ける商取引を再開する豫定で、福州の林兼商店本店では